

平成30年度指定管理者モニタリングシート（平成29年度実績）

1 施設等の概要

施設名	八幡町地区センター		所管課	福祉保健部福祉総務課（内線2508）	
指定管理者名	社会福祉法人 東久留米市社会福祉協議会		指定管理者所在地	東京都東久留米市滝山4-3-14	
指定期間	平成28年4月1日～33年3月31日	利用料金制の有無	無	他自治体での指定管理者実績	無
施設の設置目的	市民及び地域社会の福祉増進を図るため、地区センターを設置し、広く市民の利用に供する。				
事業概要（サービスの概要、自主事業等）	老人憩いの家部分として、60歳以上の高齢者を対象に無料で娯楽室、団らん室、浴場の運営を行い、また、地域のコミュニティ施設として、それ以外の年齢の者を含め、会議室を貸している。				

※本施設は平成18年度より指定管理者制度を導入しており、当該事業者は平成18年度より本施設の指定管理者を実施している。

2 決算額及び利用状況

市決算額	27年度	28年度	29年度	指定管理料 対前年度増減		指定管理料 過去3ヶ年の 平均決算額	利用人数(件)数			利用人数(件)数 対前年度比増減	
				29年度-28年度	28年度-27年度		27年度	28年度	29年度	29年度/28年度	28年度/27年度
指定管理料	7,150,884	7,198,153	8,191,985			7,513,674					
使用料	197,690	217,500	222,400	993,832	47,269		12,709	13,637	12,990	95.3%	107.3%
成果配分金											

※指定管理料過去3ヶ年の平均決算額欄：指定管理者制度の導入から3年を経過していない場合は、指定管理者制度導入後からの平均決算額を記入。

※成果配分金は当該年度に記載(市の決算上は翌年度収入)

3 モニタリング評価

評価項目	評価の視点	評価
公平な使用の確保	＜公平性の確保＞使用許可は適切に行われたか、不適切な利用制限はなかったか	3
市民サービスの向上	＜事業等運営＞新たなサービスの提供等、具体的なサービスの向上を図っているか	3
	＜施設維持管理＞設備機能維持のための保守点検、清掃業務・光熱水費・備品管理等に遺漏はないか	3
	＜情報管理＞個人情報保護及び情報公開について十分配慮し、必要な措置を講じているか	3
	＜危機管理＞事故・災害等に対する綿密な危機管理体制が整っているか	3
	＜市民協働＞地域住民と一体化した取り組みがなされているか	4
	＜ノーマライゼーション＞障害者や高齢者等に配慮した運営をしているか	3
経費の節減など効率的な運営	＜モニタリング＞利用者の満足度を図る仕組みや事後評価がなされているか	3
	＜収支の改善等＞利用者の増、経費の削減などの収支状況改善に向けた取り組みをしつつも、利用者にとって適正な運営をしているか	3
	＜経費の妥当性＞管理運営経費は、その内訳も含め妥当であり、適正に執行されているか	3
	＜再委託業務＞再委託されている業務の範囲は適切か	3
安定的な施設サービスの継続的な提供	＜環境対策＞市の環境施策を理解し、省エネ省資源等、地球環境に配慮した管理運営がなされているか	3
	＜サービスの信頼度＞施設管理手法及び維持管理体制が明確になっており、安全、安定的な施設管理ができていますか	3
	＜職員の専門性、配置体制＞職員の指導育成などが適正にされており、施設の管理及び事業の運営を行うにあたって十分な能力を有し、事業内容に適した職員が配置されているか	3
	＜労働条件＞職員に対し、労働法規等を遵守した適正な勤務体制か	3
施設の特徴によるサービス提供 ※それぞれの施設における事業計画等を参考に、評価の視点を設定する	＜経営基盤＞指定管理者(母団体)は、公共サービス事業提供者にふさわしい理念・方針のもと、経営が安定しており、施設を継続的・安定的に管理できる能力を有しているか	3
	＜サービスの提供内容＞憩いの家部分は、憩いの家設置要綱の関係法の趣旨が活かされているか、また、コミュニティ部分は独自性も加味されているか	3
合計点数		61点/100点

※評価は、5(期待を大きく上回る)、4(期待以上)、3(期待通り)、2(期待をやや下回る)、1(期待を下回る)の5段階評価とし、3を標準とする。

4 評価点（現状と課題等を含む。）

*3の評価を踏まえ、記載してください。また、特に評価すべき点、改善が望まれる点、今後取り組むべき点も記載してください。

- ・社会福祉協議会の正規職員である地域福祉コーディネーター配置拠点であり、取り組みを積極的に行うことで、地域住民からの信頼醸成に努めている。
- ・趣味の拡充、健康増進など高齢者が健康でいきいきと生活するためのきっかけづくりとなる各種講座を定期的に開催している。

5 総合評価

公平な使用の確保	市民サービスの向上	経費節減など効率的な運営	安定的な施設サービスの継続的な提供	施設の特徴によるサービス提供	総合評価
・公平性の確保	・事業等運営 ・施設維持管理 ・危機(情報)管理対策 ・市民協働 など	・収支の改善等 ・経費の妥当性 ・再委託業務 ・環境対策 など	・サービスの信頼度 ・職員の専門性、配置体制 ・労働条件 ・経営基盤 など	・設定した評価の視点	C

6 次年度以降に向けた方向性

*3及び4の記載内容を踏まえ、記載してください。また、特に評価すべき点、改善が望まれる点、今後取り組むべき点も記載してください。

- ・地域福祉コーディネーター拠点地域として、地域との協働についてセンターが率先して担って欲しい。
- ・住宅街に設置されている施設のため、近隣住民との関係を良好に保つよう期待したい。
- ・利用者数が減少したため、利用者数の増加に向けて創意工夫を期待したい。